

令和2年3月25日

大会の見送りについて

西日本実業柔道連盟

当連盟では、新型コロナウイルス性肺炎感染の問題が日々深刻化を増す中で、「内閣総理大臣杯争奪第60回記念西日本実業柔道団体対抗大会」の5月10日開催の是非、可否を検討して参りましたが、3月19日の政府専門家会議の提言を受け、以下の理由により開催見送りの結論に至りました。

このウィルスの感染リスク回避のためには、密閉された空間で、密集した環境のもと、密接状態での発声、この3条件の重なりを避けることとされています。

ところが、まず第1条件につきましては、大会会場の換気を全うすることは施設構造上困難であること。

第2条件につきましても、試合場、練習場での選手を始め大会関係者の密集を避けることは不可能であります。

第3条件につきましては、実業柔道の本旨が所属企業の社員と選手の一体感の醸成、即ち所属先の応援を得て、選手が所属企業・団体の名誉を賭けて戦うものである以上、無観客試合での開催や観客席での声援を禁じることは実業柔道として自己否定につながります。

加えて、本大会は国土の西半分の各地から選手、チーム関係者が来尼いたします。地域の実情に鑑みれば、感染のクラスターにならないという保証はありません。

かようなリスクを冒して、当連盟として5月10日の挙行決断は控えるべきであると考えました。

また、決断を徒に先延ばしすることは、交通機関の手配、キャンセルや宿舎の解約等各方面に一層のご迷惑と悪影響を及ぼすことに思いを致し、大会まで一か月以上前のこの時期ではありますが、このように決定致しました。

以上、断腸の思いでディケイド（十年紀）に当たる連盟創立第60回の記念大会の開催を見送る結論に至った次第です。

大会開催準備を進めるに際し、開催地の尼崎市様始め後援を戴いた関係諸団体様、参加申込を戴いている会員企業等各チームの皆様、また本大会の協賛をお願いした方々、委嘱の大会役員諸氏、及び競技役員を派遣して戴く関係先の皆様には、今大会の開催を見送ることになり深くお詫び申し上げます。

最後に、政府、各自治体の対策、取組みの緩急宜しきを得て、また快癒に効果ある薬石が一日も早く発見され、早期に本災厄が終息し、大会を存分に満喫できる日の早い到来を願って已みません。